

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会阿蘇支部

「阿蘇たかな飯の日」が認定されました。

阿蘇たかなとは、アブラナ科植物「からしな」の一種で室町時代から熊本県阿蘇地方でのみ栽培されてきた伝統野菜です。現在は150haほどの面積で栽培されています。令和4年産の阿蘇たかなにおいてハクサイダニによる甚大な被害が地域全体で発生し、特産である「阿蘇たかな漬」の生産にも大きく影響しました。

これを受け、阿蘇支部では令和5年にマイナー作物農薬登録試験を行い、翌年6月に「フォース粒剤」の「からしな」への使用が認められました。広く生産者に農薬登録拡大の情報と防除の徹底を周知したことにより、現在被害はほぼ沈静化しています。

そんな阿蘇たかなの消費拡大や郷土料理の伝承、観光振興を目的に阿蘇たかな漬協同組合が日本記念日協会へ「阿蘇たかな飯の日」の申請を行い、令和8年6月に正式に認定されました。記念日当日である7月8日には阿蘇市役所において、認定賞授与式、阿蘇市長報告、阿蘇市一の宮小学校でのPRが行われました。阿蘇たかな漬組合からは阿蘇市の小中学校に向け、たかな漬20kgが無償で提供され、給食で振る舞われました。



阿蘇市長との記念撮影



給食で提供されたたかな飯